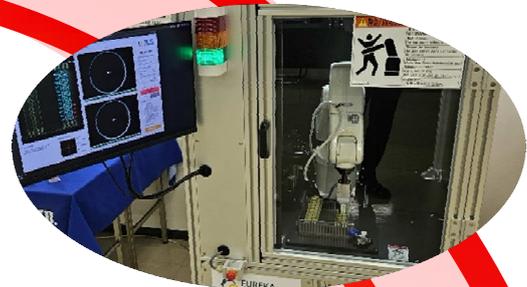


 シグマ光機株式会社



統合報告書 2024

2024年5月期

 OptoSigma®

Light Solutions for Life®



オプマ



コプマ

※シグマ光機のマスコットキャラクター

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

絶え間ない技術革新により、お客様へ価値ある製品を提供します。
公正な事業活動を通じて、当社に関わる全ての人々の幸福を実現します。
常に持続可能な社会への貢献を意識した経営を行います。

社是

「感謝」「挑戦」「創出」

スローガン

「アジアNo.1」から、「世界No.1」へ

重点戦略

お客様満足度の最大化

Q・C・D+R+S(※)を世界レベルへ

技術伝承・融合・総合力

※Quality（品質）、Cost（コスト）、Delivery（納期）、Response（レスポンス）、Service（サービス）の頭文字。
シグマ光機は、製造業において重要な3要素「Q・C・D」に加えて、お客様満足度の最大化のための「R、S」も大事にしています。

目次

シグマ光機早わかり

- 01 経営理念・目次
- 02 シグマ光機の軌跡
- 03 シグマ光機早わかり

社長メッセージ

- 05 社長メッセージ

シグマ光機の価値創造

- 07 中長期経営方針
- 09 価値創造プロセス
- 11 事業別戦略
 - 11 要素部品事業
 - 12 システム製品事業

サステナビリティ

- 13 シグマ光機のサステナビリティ
 - 15 E：環境への取り組み
 - 17 S：社会への取り組み
 - 19 G：ガバナンスへの取り組み

会社情報

- 21 Topics
 - 21 能登被災からの復旧
 - 21 自動化の推進
- 22 ブランディング
- 23 拠点一覧
- 24 グローバルネットワーク・グループ会社
- 25 財務・非財務ハイライト
- 26 会社概要

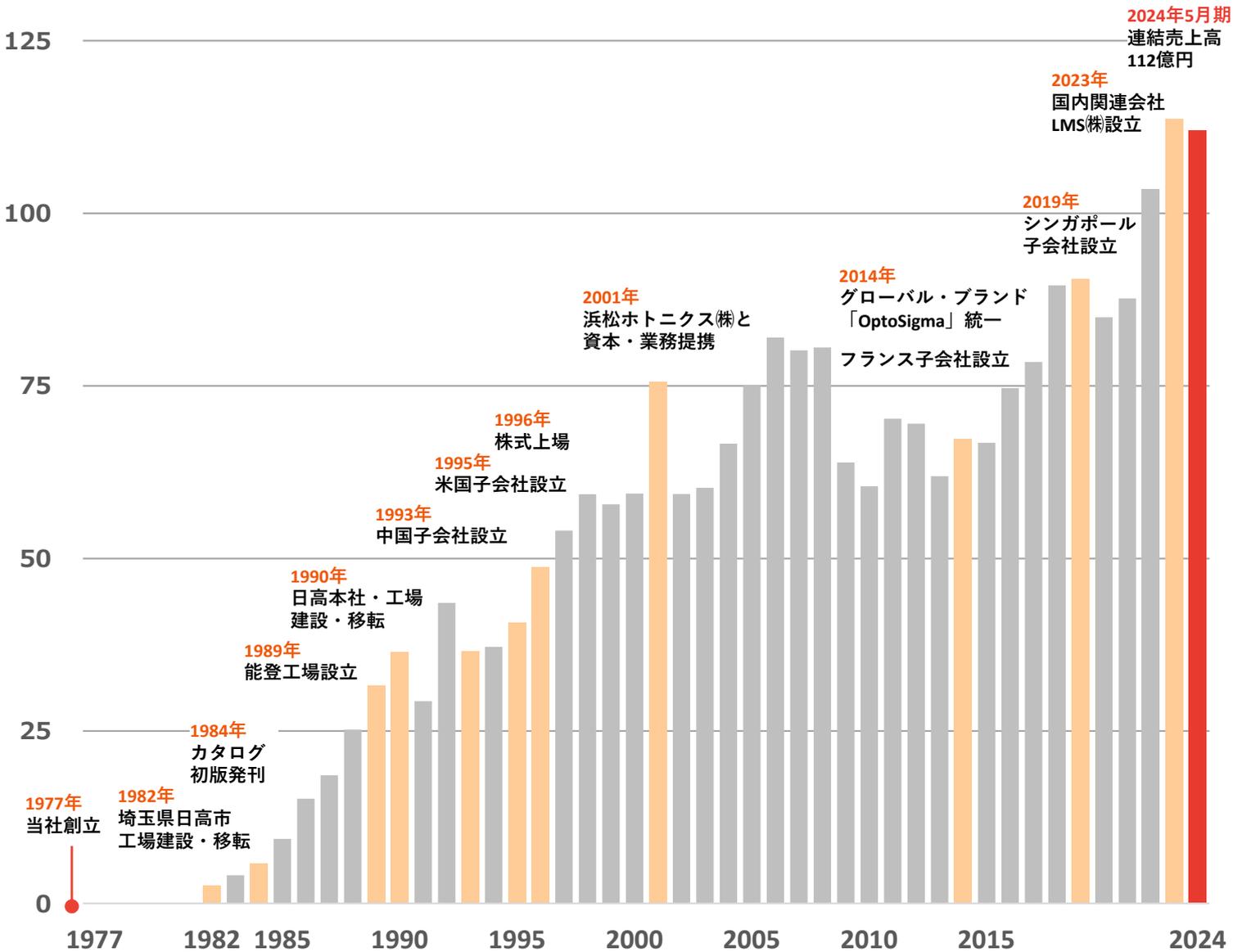
報告対象期間： 2023年6月1日～2024年5月31日
※一部に上記期間外の情報を含むことがあります。

光なら、きっとできる。

シグマ光機は、人々の「くらし」や「いのち」に役立つ様々な分野を、光ソリューションの提供によって支えています。
 いままで世の中になかったものを光で創る。
 私たちシグマ光機グループは、「光」で社会に貢献していきます。

売上高推移

単位：億円



※売上高は1982年から記載しています。
 ※1991年は決算期変更により8ヵ月間の売上高を記載しています。

1977年4月	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代～	2020年代～
シグマ光機創立	カタログ販売開始	拠点拡大・上場	産業用途向け拡大	グローバル展開加速	光技術による社会貢献拡大

シグマ光機早わかり

社名の由来

金属加工

素子研磨

システム設計



創業者3名が力を合わせて「シグマ」

光学機器の「光機」



ギリシャ語で「総和、融和、協調」を意味する「シグマ」と「光学機器」の提供で社会に貢献していくということから、「シグマ光機」と命名しました。

シグマ光機の事業領域



光学基本機器製品
(手動位置決め製品)

自動応用製品
(自動 & 遠隔位置決め製品)

光学素子・薄膜製品
(光学特性を制御・調整する製品)
※光学特性：光の透過、反射、吸収、屈折、回折等

光学システム製品
(装置 & ユニット & モジュール)

光学要素部品・レーザ応用製品の開発・設計・製造・販売



シグマ光機のお客様



生産現場

加工装置
検査装置

研究・開発現場

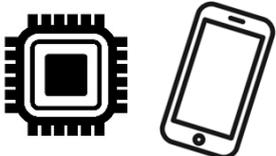
R&D試作機
実験用器材

商社

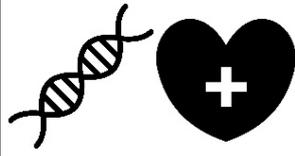
学術機関向け
メーカー向け



最終顧客



エレクトロニクス
微細加工/精密検査



バイオ・医療
生物観察/低侵襲医療



通信
超高速通信等



航空・宇宙・防衛
精密計測/精密測定

シグマ光機の強み

光技術の弛まぬ革新と価値ある光ソリューションの提供

『お客様の欲しいを形に』をモットーに、シグマ光機グループの総合力を活かして、お客様への感謝を胸に、常に最先端の技術に挑戦し、新しい価値の創出に取り組んでいます。

Point. 1 研究開発分野での高い認知度とブランド力

レーザ創生期にあたる1977年から、国内の代表的な学術機関&研究機関等の高いニーズにお応えし、最先端の技術を蓄積してきました。長年培われた技術を活かして産業分野にも進出しており、お客様から高いご評価と厚い信頼を得ています。

Point. 2 高い技術力とワンストップ・サービス

光学設計・素子加工

機械加工

電気設計・ソフト開発

システム化

4つの中核技術を活用した総合力を活かし、
パーツからユニット、システムまで幅広いニーズに対応

Point. 3 国内外の生産・販売拠点を活用したグローバル対応



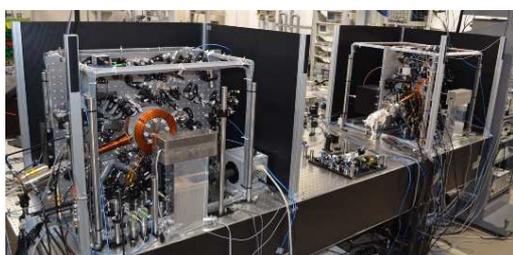
国内外の生産・販売拠点を活用し、
グループの総合力でお客様のニーズに対応

※詳細はこちらもご参照ください。
<https://www.sigma-koki.com/ir/individual/strength/>



シグマ光機の挑戦

光格子時計プロジェクト



自動外観検査装置



医療機器・ヘルスケア



社長メッセージ



当社オリジナル
女性活躍推進イベント
「働く女性サミット」
4期生と一緒に。
近藤社長(前列真ん中)

方針に基づく主体的な組織風土の構築等、 様々な挑戦をしてみいました。

2014年7月に社長就任以来、10年目を迎えました。当時66億円(2015年5月期)だった連結売上高は、今や112億円という、100億円を超える規模になりました。これもひとえに株主様をはじめとする様々なステークホルダーの皆様のご協力・ご支援のおかげです。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

社長就任以来、「光産業を通じて、社会に貢献する」という当社理念の実現に向けて、自ら指揮をとり、様々な挑戦をしてみいました。

まずは、グローバル総合力の発揮に向けて、社是やサステナビリティ基本方針等を新たに策定し、全社スローガン及び重点戦略、社内各本部方針をそれぞれ再設定する等、方針に基づき主体的に行動できる組織風土の構築を進めました。それとともに、グローバルブランド「OptoSigma®」の展開、大型装置販売からモジュール品&ユニット品の展開によるシステム製品の黒字化、グローバルWebカタログ制作、拠点拡大等の海外展開強化及び社会貢献活動の取り組み等を推進し、その多くは、当社の企業価値向上に大きく貢献しており、現在も活動を継続しております。

能登半島地震被災からの復旧はほぼ完了。 更なるBCPの強化に努めております。

当連結会計年度における当社業績は、売上高1.4%減、営業利益は21.7%減の減収減益となりました。これは、世界経済の景気回復に足踏みが見られる中、一部半導体業界向けや一部の海外向け需要が鈍化したことに加えて、本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」による当社工場拠点の一時的な稼働停止等、外部環境変動の影響を受けた形となりました。

世界経済は、依然として先行き不透明感の強い状況が続いておりますが、半導体関連業界向け等を中心に緩やかに回復の兆しがみられております。能登半島地震の影響につきましても、生産体制を中心に復旧はほぼ完了しており、これを機に更なる供給体制の拡充とBCPの強化に努めております。そのような中、高付加価値製品の販売強化及び産学官連携や専門企業との協業等による製品ラインナップ拡大、海外認知度強化等を推進し、今期は、増収・増益を見込んでおります。

先行きが読めない不透明な時代だからこそ 長期視点からの全社戦略を策定。

最先端の研究分野及び高付加価値産業分野を中心に、光技術のニーズは年々拡大かつ多様化しており、その中核技術であるレーザ光関連市場も成長を続けております。一方で、グローバル化により世界経済の地政学的リスクが高まった他、各産業での技術競争の激化によりビジネスライフサイクルが短命化する等、当社を取り巻く事業環境は、まさに先行きが読めない、不透明な時代に差し掛かりつつあります。

そのような中、「営業・マーケティングの強化」、「モノづくりの強化」、「経営管理体制の強化」といった機能別課題を設定し、取り組んでおりますが、先行きが読めない不透明な時代だからこそ、短期トレンドに一喜一憂しない、長期視点からの全社戦略が必要と強く確信し、昨年度より「中期経営方針の4つの柱」という全社戦略を新たに策定いたしました。外部環境変動がますます激化する中、長期視点からの全社方針に基づく事業活動を強力に推進し、企業価値の最大化を持続可能なものとする所存でございます。

従来から脱却する「Great Reset」を進めることで、主要KPIの達成を目指してまいります。

「中長期経営方針」の詳細は7ページの「中長期経営方針」に記載しておりますが、簡単にまとめますと、「成長戦略」、「ビジネスモデル変革」、「事業継承・中核人材育成」、「社会貢献」の4つの戦略を柱とした経営方針です。外部環境変動の激しい中でも、中長期的な環境認識の下で着実に成長戦略を遂行し、ビジネスモデル変革を通じて、高収益体質への転換を図ります。

企業の責任と役割が拡大。
基本方針を軸にESG活動を推進。

社会課題の多様化・複雑化等とともに、社会の中における企業の責任と役割も年々拡大し、財務資産の蓄積のみでは、企業競争力を維持できない時代となりました。特に、株主様をはじめとする投資家及び取引先金融機関等の皆様より、将来の事業成長の源泉ともいえる非財務資本(財務資本を除く5つの資本)の蓄積・活用への関心が年々高まっております。非財務資本に関する詳細は、9ページ「価値創造プロセス」の記載の通りですが、当社も非財務資本の蓄積・活用は重要な経営戦略と認識しており、対応を進めております。

「Back to the Basic」と「Great Reset」。
変えないDNAと変えていく戦略。

まだこの世にない、レーザ用光学製品を求めて。最先端の研究開発現場及び高付加価値産業の製造現場等のお客様の「欲しい」を「形」にすること。「光産業を通じて、社会に貢献する」ために、力を合わせて事業を開始した3名の創業者たちの想いは、現在も確実に受け継がれております。私はこれを当社の経営理念の実現に向けた重点戦略の中で、「お客様満足度の最大化(For the Customer)」「技術伝承・融合・総合力(Back to the Basic)」「QCD+R+Sを世界レベルへ」という言葉にまとめました。現在も、自ら実践し、繰り返し伝えることで、全従業員への浸透を進めております。

また、事業継承、社会貢献等にも取り組み、持続可能な企業価値向上を目指します。従来までの業務活動の延長から脱却し、中長期的な視点からの持続可能な成長に向けた「Great Reset」を進めることで、その結果として、2027年5月期までの3年間で、主要KPIである年平均2~5%の売上高成長、8%以上のROEの達成を目指してまいります。

また、当社では、非財務資本の蓄積&活用を含む、より広い意味での持続可能な企業価値の向上に向けて、サステナビリティ基本方針を軸に、E・S・G活動を推進しております。例えば、CO2排出量の削減等の環境関連活動の推進(E)や、光学人材の育成を軸にした国内外での教育支援活動及び社内人的資本の強化等の社会関連活動(S)、並びに当社の様々な活動の社内外からの監督&モニタリングを含むガバナンス体制の強化(G)等を推進しております。

詳細につきましては、13ページの「サステナビリティ」をご参照ください。

このような企業文化の共有・浸透と並行して、先行き不透明な事業環境の中では、環境変動に応じた柔軟な戦略が求められており、次のステージに向けた「Great Reset」を強く推進しております。

変えないDNAと変えていく戦略。この明確化と浸透を進め、全社一丸となった総合力の発揮と、環境変動に応じた柔軟な戦略遂行の両立を進めてまいります。

これからも持続可能な企業価値の最大化に努めてまいりますので、株主様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社
代表取締役社長 近藤 洋介

中長期経営方針

シグマ光機は「光産業を通じ、社会に貢献します」という使命の下、光技術を通じた社会課題解決に取り組んでいます。社会課題から人々の「暮らし」や「いのち」を守るため、長期的な視点に基づく戦略の実践と結果にコミットする企業風土に変革させる「Great Reset」を推進し、大局からの先手対応を進めています。具体的には、「成長戦略」、「ビジネスモデルの変革」、「事業継承・中核人材育成」、「社会貢献」の4つの重点戦略を強力に推進していきます。

環境認識

世界経済の先行き不透明感の高まり

顧客ニーズの多様化&複雑化

組織の成長

ESG経営の推進

持続的な成長に向けた「Great Reset」

中期経営戦略の4つの柱

成長戦略

ビジネスモデル変革

事業継承
・中核人材育成

社会貢献

人々の「暮らし」や「いのち」のお役に立つため、長期的な視点で先見した重点戦略を推進。

主要KPI

	2024年5月期実績	2025年5月期予算	2027年5月期(3年後)目標
売上高(連結)	11,213 百万円	11,820 百万円	毎年 2 ~ 5 % 成長
営業利益率(連結)	10.5 %	9.8 %	15 % 以上
ROE(連結)	4.1 %	※5.3 %	8 % 以上

※2024年5月期末時点の自己資本額を元に試算しています。

主要KPIとしては、2027年5月期までに年平均2~5%の成長を目指します(約12,500~13,600百万円台)。また、高付加価値製品販売の強化及び生産効率化等を進め、営業利益率は15%以上を目指します。その他、売上高・利益成長の実現とともに、成長に向けた積極投資及び財務健全性を兼ね備えた資本戦略の推進、株主様への安定配当等を進め、ROEは8%以上を目指し、持続可能な企業価値の創出に取り組んでいきます。

対処すべき課題(機能別戦略)

営業・マーケティングの強化



- ・学会&展示会参加
- ・光ソリューション提案強化
- ・Webカタログ/SNS動画活用
- ・フォーラム/セミナー開催
- ・ブランド認知度向上
- ・産学官連携の推進 など

ものづくりの強化



- ・品質の向上と安定
- ・コストダウン
- ・短納期化
- ・必要数量の適時提供
- ・生産技術の更なる改革
- ・サプライチェーン強化 など

経営管理体制の強化



- ・内部統制システム、コンプライアンス体制の更なる整備・維持・改善
- ・コーポレート・ガバナンス強化
- ・サステナビリティ推進
- ・ITシステムや生産設備の導入
- ・次世代人材の育成・確保
- ・就業環境整備 など

成長戦略 「持続的な成長に向けた主要KPIの達成」



半導体など



バイオ・メディカル



AI&ロボティクス



量子 など

◆ 既存事業の継続成長

◆ 新市場・成長市場向け展開強化

ビジネスモデル変革 「成長のための新しい挑戦・仕組み作り」



微細マイクロボールレンズ搭載
超解像度顕微鏡



管理医療機器認証された
生体情報モニタ製品



ロボティクスとAI画像解析を統合した
光学素子の自動外観検査装置

- ◆ 特定マーケット向け当社オリジナル製品の企画&開発&生産
- ◆ 各マーケット向けの専門企業とのコラボレーション企画&開発

事業継承・中核人材育成 「次世代経営幹部の育成」



生産、営業等、社内人材の
海外展示会への積極参加



海外グループ会社及び
国内持分法適用会社の役員登用



社内オリジナル研修

◆ 次世代経営幹部の育成

◆ 当社オリジナル人材教育研修の拡充

社会貢献 「Light Solutions for Life®」



太陽光発電
(日高工場・能登工場導入)



国内光学技術者
育成に向けた教育

- ◆ 持続可能な企業活動に向けたサステナビリティ推進
- ◆ 脱炭素への取り組み & 教育分野への支援 & 医療・介護・福祉関連への支援

価値創造プロセス

資本の強化

資本の投入 (2024年5月期連結実績)

財務資本

堅実性と積極性を兼ね備えた財務戦略の実行により、
強固な財務基盤を維持しつつ、キャッシュ創出力を強化。

自己資本

17,047 百万円

(自己資本比率: 81.4%)

営業CF

1,410 百万円

製造資本

自動化・高速化・超高精度設備の導入等、
環境変動に迅速に対応できる生産体制を構築。
生産性の向上及び労働環境の改善を継続。

生産拠点数

4 拠点 (国内3+海外1)

設備投資額

1,121 百万円

主要工場増築& リノベーション実施

- ・ 本社・日高工場(2020年)
- ・ 白山技術センター(2023年)
- ・ 能登工場(2024年)

- ・ 米国会社
新社屋リノベーション&設備投資
- ・ 能登工場増築
- ・ 技術センター増築
- ・ 情報システム投資
- ・ 上海シグマ光機設備投資等

知的資本

生産部門・販売部門・技術部門及び協力会社との
連携強化により高付加価値製品を創出

研究開発費

339 百万円

(売上高構成比率: 3.0%)

研究開発費: 要素部品事業

204 百万円

研究開発費: システム製品事業

134 百万円

人的資本

「多様性」と「専門性」を兼ね備えた人材育成・輩出及び、
それらの人材が働きやすい社内環境整備・風土の醸成を推進

従業員数

371 人 (単体)

女性管理職比率

7.7 % (単体)

環境資本

常に地球環境を意識し、継続的な改善に取り組むとともに、
気候変動への対応を推進

電力使用量

4,633,159 kWh (単体)

CO₂量排出量 (Scope1+2)

2,242 t (単体)

社会関係資本

長年培ってきた光学知識等を活かして、
光技術者育成のための教育支援活動を展開。

主な活動例

- ・ 光技術者育成 (※CORALへの参加)
※先端レーザー科学教育研究コンソーシアム。東京大学等の単位取得が可能な講座。
- ・ 光の寺子屋 (社会人向けセミナー、小・中学生向け課外学習等)

事業活動

経営理念 光産業を通じ、社会に貢献します。

サステナビリティ E・S・G経営の推進

組織風土 「感謝」・「挑戦」・「創出」

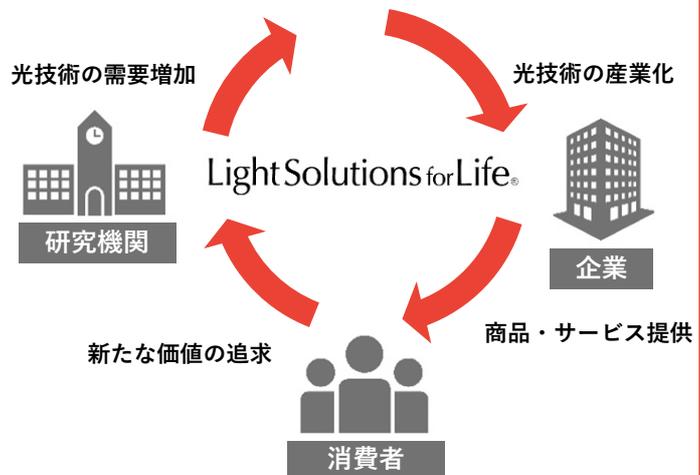
シグマ光機の強み

光学設計	加工技術	システム化
電気制御	変種変量生産	ソフトウェア開発
・ 長年蓄積された光学技術&ノウハウ ・ ソリューション提案力 ・ 幅広い光業界ブランド力		

シグマ光機のビジネスモデル



シグマ光機株式会社

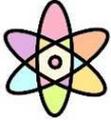


新たなニーズ・課題

環境認識

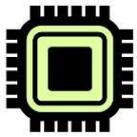
- 学術研究・原理究明
- 複雑化&微細化&超精密製造・検査
- 政治体制の違いによる対立の激化
- 長寿命・健康社会の実現
- 少子・高齢化(労働力不足)
- IT化&DX化・高速通信
- 人権の尊重・多様性の推進
- 人材育成・リスクリング
- 環境問題(気候変動問題等)
- 自然災害対策・事業継続

主要マーケットとニーズ



国家PJ&研究機関

量子関連学術研究&産業化
ハイパワー&特殊使用環境
その他学術研究&新技術確立等



半導体・AI・ロボティクス

次世代装置(加工・検査)
AI & IoT・ロボティクス
OLED・次世代パネル



通信・車・センシング

次世代通信モジュール組立装置
次世代通信関連
高分解能角度センサ



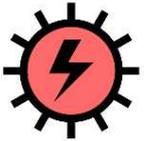
医療・介護・バイオ

低侵襲治療・美容用途
ポータブル化・遠隔治療
再生医療・バイオ観察



防衛・航空宇宙

宇宙探査
天文観察
海上・航空監視



エネルギー・環境

新エネルギー創生
高効率太陽電池モジュール
省エネ・環境配慮モジュール



その他産業装置等

多機能化・高性能化
精密微細加工&複雑形状加工
超精密検査・計測
Etc

目指す姿

持続的な光技術の革新を通じて、
「くらし」や「いのち」を支え、
持続可能な社会の実現を目指します。

安全

超高精度時間計測による災害予測の向上
宇宙観測による地球への影響予測
位置情報精度向上による自動運転の実現
量子技術による安全な通信の実現

安心

先端光技術による認知症等の予防&治療
光技術による侵襲を伴わない医療機器開発
光技術による小型で簡単な介護支援機器開発
遠隔操作での医療診断・検査・治療

快適

AI&ロボティクスによる作業工程の自動化
高解像度観察装置による検査品質の向上
高精度・高分解能な測定・計測機器の開発
量子コンピューティングマシンの実現

環境

光技術による消費電力の効率化
モジュールの小型化による省エネ構造実現
クリーンエネルギーの活用によるCO2削減
創エネルギーの多様性と有効活用の取り組み

光を扱うために必要な部品やユニット製品です。

レーザー光の集光・反射等に利用するレンズやミラー、それらを固定させるホルダーや微細な位置決め用のステージ、遠隔操作や自動操作のための電源やソフトウェアを追加した自動応用製品等を提供しています。

■ 主要製品



光学素子・薄膜製品

ミラー、レンズ、プリズム等
光の形状や向きを変えたり、
必要な光を取り出すための
ガラス製品&結晶製品



光学基本機器製品

光学素子・薄膜製品の固定や
対象物の微細な位置決めを
するホルダー、ステージ等の
金属加工製品



自動応用製品

光学基本機器製品にセンサー
やモータ等を取りつけて遠隔
操作・自動制御等を可能に
した制御機器製品



■ 主な用途



半導体等の産業装置向け



バイオ等観察用途



通信関連調芯装置



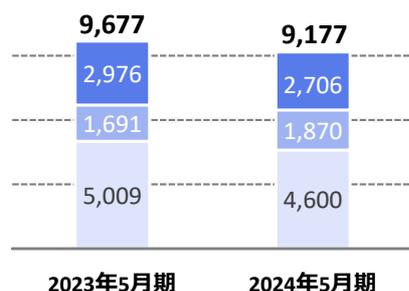
その他最先端研究向け等

■ 業績サマリー（連結）

通期実績

(単位：百万円)

■ 光学基本機器製品 ■ 自動応用製品 ■ 光学素子・薄膜製品



半期推移

(単位：百万円)

■ 光学基本機器製品 ■ 自動応用製品 ■ 光学素子・薄膜製品



■ 2024年5月期の概況

光学基本機器製品は、一部半導体業界向けで在庫調整の動きがみられる中、一部の海外地域向けの需要が減少した他、当社工場拠点の被災による一時的な稼働停止等の影響等が加わり、総じて軟調に推移しました。自動応用製品は、半導体不足に起因する電子基板などの供給制約の解消が続き、好調に推移しました。光学素子・薄膜製品は、電子部品・半導体業界における一部の顧客向けの需要は堅調に推移し、一部アジア地域向けの需要は回復基調で推移したものの、総じて弱含みで推移しました。

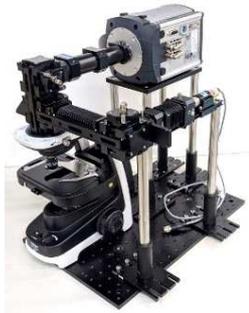
■ 2025年5月期の取り組み

要素部品事業における事業環境は、先行きの不透明な状況が続いていますが、エレクトロニクス業界向けを中心に回復の兆しがみられています。このような中、当社工場拠点の被災からの復旧はほぼ完了しており、昨年度増築した増築棟の稼働も開始される等、更なる供給体制の強化に努めています。また、年度末に向けて、海外地域向けの需要も緩やかに回復すると見込んでいます。引き続き高品質・高付加価値製品の生産能力増強及び生産性向上を進めるとともに、海外展開に取り組み、持続的な事業成長を推進していきます。

シグマ光機の総合力を活かしたシステム製品です。

光学要素部品で培った製造技術と、レーザ応用分野での豊富な実績で、測定・検査用途、評価・分析用途、生産・組立用途に至るまで、研究・開発用、産業用として多方面で採用されています。

■ 主要製品



光学システム製品

研究開発分野から産業用途まで、光技術を応用したシステム製品を設計・開発・製造しています。

光学モジュール・光学ユニット製品

様々な装置や機器等への組み込み用途として、モジュール及びユニット製品を提供しています。

■ 主な用途



半導体等の産業装置向け



バイオ等観察用途



医療・介護関連



航空・宇宙

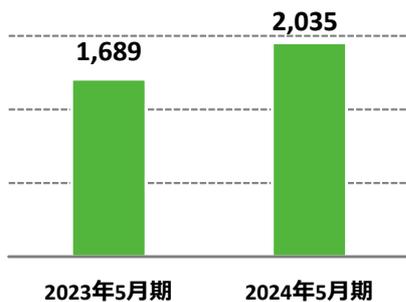


その他

■ 業績サマリー（連結）

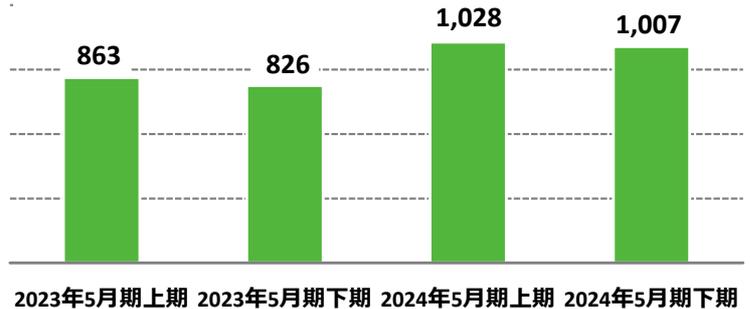
通期実績

(単位：百万円)
■ 光学システム製品



半期推移

(単位：百万円)
■ 光学システム製品



■ 2024年5月期の概況

電子部品・半導体業界向けの製造装置・検査装置への組み込み用途の光学ユニット製品及び光学システム製品は好調に推移しました。フラットパネルディスプレイ業界向けでは、一部の顧客向けの製造装置・検査装置への組み込み用途の光学ユニット製品が堅調に推移しました。また、防衛業界向けの光学システム製品の需要は堅調に推移し、医療業界向けの光学システム製品は微増で推移しました。

■ 2025年5月期の取り組み

システム製品事業における事業環境は、先行きの不透明な状況が続いていますが、エレクトロニクス業界向けを中心に回復の兆しがみられています。このような中、当社コア技術の融合・複合を推進するとともに、産学官連携や業界専門企業との協業等に取り組み、医療・ウェルネス分野向けのポータブル医療機器等を開発するなど、高品質・高付加価値製品の更なるラインナップの拡充を進めていきます。また、成長性の高い有力市場向けのOEM・ODM案件の創出に積極的に取り組み、収益の拡大を図っていきます。

シグマ光機グループ サステナビリティ基本方針

シグマ光機グループは、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念のもと、その実践を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいます。

1. 社会の持続可能な発展への貢献
2. 健全な企業活動
3. 人権の尊重
4. 自然環境の保全
5. 社会との調和

詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/sustainability-policy/>



※2024年度（2025年5月期）に当たる2024年7月25日(木)に、気候変動への取り組みに関する内容を追記し、「サステナビリティ基本方針」及び「シグマ光機行動規範」を一部見直しました。

基本的な考え方

シグマ光機グループは、「Light Solutions for Life®」をブランド・ステートメントとして掲げており、当社の中核技術である光技術を通じて社会課題や環境課題に取り組む中で、「くらし」や「いのち」を支える価値ある光ソリューションを提供し、持続可能な社会価値を創出することを目指しています。

また、「光ソリューション・カンパニー」として、すべてのステークホルダーから信頼され、かつ持続的に企業価値を向上させることを目的として、「サステナビリティ基本方針」「シグマ光機行動規範」を定めています。この基本方針・行動規範の下、社会課題解決及び持続可能な社会への貢献に向けて、適切かつ誠実な企業活動を推進しています。

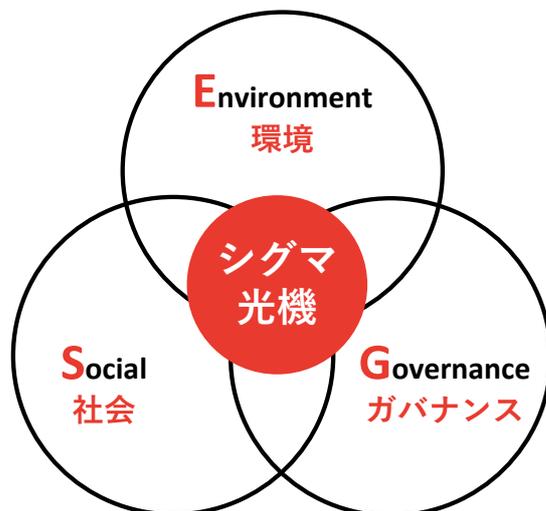
サステナビリティへの取り組み

ESG「Environment（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（企業統治）」の3つの軸に基づいて、サステナビリティ活動を推進しています。



詳細はこちらもご覧ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/>



サステナビリティ推進体制

サステナビリティ推進に関するグループ全体の取り組みを効率的に推進するため、経営会議の配下に、経営企画部門を事務局とする「サステナビリティ委員会」を設置しています。「サステナビリティ委員会」は、原則として半年に1回開催され、活動状況を「経営会議」に報告し、重要事項については、取締役会に諮っていきます。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現及び当社グループの持続的な企業価値の向上を目指していきます。

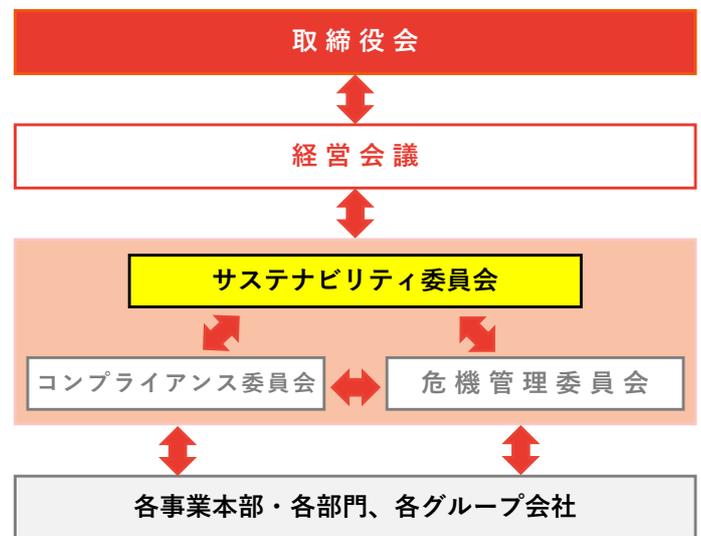
サステナビリティ委員会

構成メンバー

議長： 代表取締役社長
構成員： 常勤取締役、執行役員、各事業部門長
事務局長： 管理本部経営企画G

主な活動内容

- サステナビリティ推進に関する基本方針の策定
- サステナビリティ推進上の重要課題について協議・立案
- サステナビリティ推進活動の実施状況の把握、監査
- サステナビリティ推進に関する情報の集計及び管理等



サステナビリティ推進体制図

リスク管理

サステナビリティに係るリスクを含む全てのリスクの予防・極小化に向け、経営会議の配下に、代表取締役社長を委員長とし、管理本部を事務局とする「危機管理委員会」並びに「コンプライアンス委員会」を設置しています。両委員会は、四半期に1回及び必要に応じて臨機に開催されており、重要課題については、協議内容を「経営会議」へ報告しています。「経営会議」で協議・承認された内容は、当社グループ戦略に反映され、事業活動を通して対応しています。その他、事業リスクに関する個別のテーマについては、それぞれのテーマに関わる各担当部門がリスクを認識・把握するとともに、管理部門を中心として組織横断的なリスクへの対応を図っています。

主なリスク管理事例

- 令和6年能登半島地震対策
- 公的研究費の不正使用及び不正行為に関する対策
- 新型コロナウイルス感染症対策
- EMOTET（マルウェア）対策
- コーポレートガバナンスコード対応 等

環境方針

基本的な考え方

シグマ光機は、「常に持続可能な社会への貢献を意識した経営を行います。」という経営理念のもと、ISO14001：2015年版の認証を取得しており、「環境方針」を策定しています。「環境方針」のもと、環境保全に関する社会のニーズに対応し、法的要求事項の順守、及び継続的改善を行ってまいります。

環境方針（一部抜粋）

1. 経営理念・方針に従う
2. 順守義務
3. 汚染予防・環境保護
4. 継続的改善
5. 社会貢献

シグマ光機は、当社の経営理念を踏まえて、環境側面からも持続可能な社会に貢献するため、「環境方針」の下、「地球環境保全」と「社会貢献」の視点から、常に地球環境を意識した挑戦と継続的な改善に取り組んでいます。



「環境方針」の詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/environment/quality-policy/>

※2024年度（2025年5月期）に当たる2024年6月3日(月)に、気候変動への取り組みに関する内容を追記し、「環境方針」を一部見直しました。

環境関連データ一覧表（単体）

環境関連データ				2022年5月期 実績	2023年5月期 実績	2024年5月期 実績
全社	電力消費量		kWh	5,643,549	5,354,507	4,633,159
	コピー用紙消費量		枚/A4換算	1,366,213	1,283,771	1,201,450
	廃棄物量		kg	33,414	38,003	34,610
	燃費	給油量	ℓ	10,925	14,958	14,326
※本社 ・日高 工場	LPガス使用量		m ³	4,092	4,353	4,082
	水道使用量		m ³	7,047	8,293	9,276
	工場排水 水質指標 (※BOD値)	最終柵	mg/ℓ (平均値)	9.3	20.9	21.5

※2024年5月期： 2023年6月1日～2024年5月31日

2023年5月期： 2022年6月1日～2023年5月31日

2022年5月期： 2021年6月1日～2022年5月31日

※全社環境データのうち、本社・日高工場がほとんどを占める項目は、本社・日高工場データを管理しています。

※BOD=生物化学的酸素要求量。水質指標の一つ。高いほど水質は悪いとされます。最終柵での上限値は25mg/ℓ。

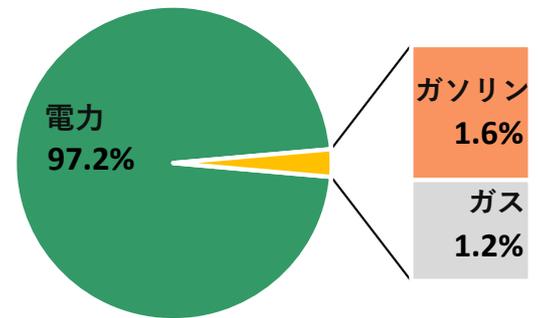
温室効果ガスの排出量の削減

気候変動に伴う環境変化リスクに対応すべく、脱炭素社会の実現を目指して、温室効果ガス（CO₂）の排出量の削減に取り組んでいます。再生可能エネルギーへの導入や、業務効率化及び省エネ・省資源の推進、及び会社保有車両の台数低減等に取り組み、温室効果ガスの排出量を削減していきます。

CO₂排出量実績（単体）

※2024年CO₂排出量内訳（単体）

	2023年実績	2024年実績	増減率
CO ₂ 排出量(合計) (t)	2,615	2,242	△14.3%
Scope 1 (t)	61	62	
Scope 2 (t)	2,554	2,180	
再生可能エネルギー活用によるCO ₂ 削減量 (t)	130	138	+6.2%



■ 電力 ■ ガソリン ■ ガス

※2024年： 2023年4月1日～2024年3月31日

※2024年： 2023年4月1日～2024年3月31日
 ※2023年： 2022年4月1日～2023年3月31日

CO₂削減

再生可能エネルギーの導入

2024年における再生可能エネルギーの導入によるCO₂削減量は、138tとなりました。2025年に当たる本年8月から能登工場にも太陽光発電を導入した他、小型風力発電を始めました。

引き続き太陽光発電の活用、ポータブル蓄電池の備蓄、小型風力発電の開発・導入を進め、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。



▲能登工場の太陽光パネル設置の様子



▲能登工場の風力発電の様子

人的資本に関する取り組み

人材育成に関する取り組み

シグマ光機は、「人材」こそ、すべての価値創出の源泉であるという考え方にに基づき、ジェンダーや国際性、年齢等に関わらず、すべての従業員一人ひとりがそれぞれの個性と能力を最大限発揮し、やりがいを持って働き続けることを目指して、様々な取り組みを進めています。

若手社員・中堅社員育成

「主体性」と「協働」を軸に、オリジナル研修推進



▲中堅社員向け研修

すべての従業員が「主体性」をもって行動し、「協働」する、「多様性」と「専門性」を兼ね備えた人材育成を目指しています。当社オリジナル教育プログラムであるMCS(中堅社員育成)・YPS(若手社員育成)による従業員教育等、それぞれの職位に沿った教育・研修を推進しています。また、様々な事業に関わる当社ビジネスモデルを活かした業務ローテーション等、従業員のキャリア形成を支援しています。

女性活躍推進

女性活躍の支援と女性目線から職場環境改善



▲女性社員向け研修

女性人材のキャリアアップへの意欲向上と知識の習得、ネットワーク構築を図るとともに、仕事と家庭を両立できる環境整備を目的に、WWS(働く女性サミット)を実施しています。WWSでは、「行動」「発見」「絆」を軸に、更なる活躍を支援しています。また、女性目線での会社制度や設備等に対する意見交換を行い、女性をはじめとする全ての従業員がいきいきと働ける環境づくりを進めています。

社会関連データ一覧（単体）

		2024年5月期 実績
女性管理職比率		7.7%
男女の賃金の格差	全労働者	63.4%
	正規雇用労働者	65.8%
	非正規雇用労働者	92.7%
採用人数女性比率	全労働者	58.5%
	新卒採用	69.2%
	中途採用	53.6%
連結グループ子会社・関連会社役員経験者比率		35.0%

- 各指標における実績は、提出会社の従業員の状況となります。
- 男女の賃金格差は、男性の賃金に対する女性の賃金の割合です。同一労働の賃金に差異はなく、等級別人数構成の差及び管理職に占める女性の割合によるものです。非正規労働者は、個人ごとに契約労働時間の異なるパートタイム労働者のため、差異が生じています。
- 連結グループ子会社・関連会社役員経験者比率は、当社副部長以上の中で、当社グループ子会社・関連会社役員兼任者及び過去1回以上当社グループ子会社・関連会社役員兼任経験者となります。サクセッションプランも踏まえて、グローバル視点及び経営経験を持った人材育成を進めています。

社内環境整備への取り組み

様々な環境変化の中でも持続的な企業価値の創出のためには、多様な価値観及び専門性を持つ人材が働きやすい環境・風土の醸成が重要であると考えています。ジェンダーや国際性、年齢や文化等の多様性を尊重するとともに、特定の属性に偏らない、公正・公平な人材の採用及び活用を積極的に推進しています。

新たな価値創出に絶えず挑戦する企業風土の醸成に向けて、人事評価制度の変革、就業制度の改善、IT活用による業務プロセスの改善・業務効率化等、新たな価値創造に挑戦する活動が評価される組織を目指しています。健康面では、労働環境における安全面のリスク管理や、年次有給休暇及び育児・介護休暇の取得促進、定期健康診断やストレスチェックの実施とフォローアップ等、心身ともに健康で、安心・安全で働きやすい社内環境整備に継続して取り組んでいます。

人事制度改正

皆さんの成果や能力の適正な評価に向けて制度改正

2024年5月期には、物価上昇等の外部環境認識及び人的資本の蓄積等の中長期ビジョンに基づき、より従業員の成果や能力が適正に評価されるよう、人事評価基準等の人事制度を大幅に見直しました。引き続き人材の活躍に関わる各種制度の導入や見直し等を推進し、従業員のエンゲージメントの向上に向けた社内環境改善に取り組んでいきます。

次世代育成

光の寺子屋

将来の光技術者育成のための教育支援活動展開

長年培ってきた光学知識等を活かして、光技術者の育成に向けた教育支援活動を展開しています。CORAL(※)の開設時から講義・実習に参画しており、社会人生涯学習センター及び個別企業でレーザー安全セミナー等を開催している他、小・中学生向けの課外学習等を実施しています。



◀東京大学でのCORAL(※)実習

※CORAL：先端レーザー科学教育研究コンソーシアム。
東京大学を中心とした単位取得が可能な講座。

当社は「光」をもっと身近なものと感じてもらおう場として、生徒や学生、技術者の意見交換ができる「光の寺子屋」活動を運営しています。



コーポレートガバナンス基本方針

基本的な考え方

「皆様のくらしやいのちを支える価値ある光ソリューションの提供」というものづくり企業としての責任のもと、公正・健全かつ透明な事業活動を通じて、社会課題の解決と持続可能な社会の発展に貢献することを目指しています。当社は、コーポレートガバナンス基本方針のもと、公正・健全かつ透明な当社グループの持続的な成長と企業価値の向上の実現を目指します。

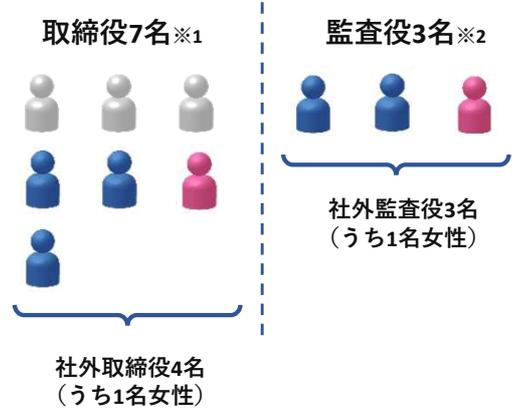
コーポレートガバナンス推進体制

コーポレート・ガバナンス体制(2024年8月28日現在)

機関設計	監査役会設置会社
取締役の任期	1年
執行役員制度	採用（雇用型）
取締役会の下部組織	経営会議
取締役会の任意委員会	任意の指名委員会及び報酬委員会を設置
会計監査人（在任期間）	太陽有限責任監査法人（3年）

※1 定款上の取締役の員数は10名以内

※2 定款上の監査役の員数は4名以内



詳細は、下記の当社ホームページにてご確認ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/governance/corporate-governance/>



スキルマトリクス

当社では、取締役会の実効性の確保に必要なスキル（知識、能力、経験等）を、経営戦略などの重要な事項の判断及び職務執行の監督の観点から以下のとおりとしました。

職位	番号	氏名	掌管分野	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
				企業経営	生産・技術・研究開発	営業・企画・マーケティング	財務・会計・ファイナンス	人事・労務・人財育成	法務・ガバナンス・リスクマネジメント	ICT・デジタル戦略・DX	国際ビジネス・グローバル化	ESG・サステナビリティ・多様性
取締役	1	近藤 洋介	業務執行	経営全般	●	●	●	●	●	●	●	●
	2	石井 康之	業務執行	財務・会計・人事・法務・IT				●	●	●		
	3	多幡 能徳	業務執行	生産		●	●		●			
	4	小澤 勉	社外			●						
	5	野崎 誠	独立・社外		●			●		●		
	6	松尾 祐美子	独立・社外							●	●	●
	7	セツジイオン	独立・社外		●	●					●	●
監査役	1	上野 健司	常勤・社外				●		●			
	2	南雲 幸一	社外		●			●	●			●
	3	熊崎 美杉	独立・社外				●		●			

※上記一覧表は、各人の有するすべての知見や経験を表すものではありません。

内部統制システムの構築に関する基本方針の一部改訂

当社は、事業活動における社内業務の適正を確保するために、内部統制システムを構築しています。2024年7月11日（木）に開催した取締役会では、「内部統制システムの構築に関する基本方針」を一部改訂を決議しました。これからも、外部環境と内部環境の変化等に応じた内部統制システムの評価及び見直しを行い、実効性のある内部統制システムの整備・運用に努めていきます。

主な変更点：

- 内部統制に係る各種会議体の整理と役割の明確化
- 各会議体の役割と目的に合わせた名称変更

詳細はこちらからご覧ください。
https://www.sigma-koki.com/asset/data/240711_p.pdf



取締役会の実効性評価の実施

当社は、取締役会に期待される機能が適切に機能しているかを分析・評価し、継続的な改善を図っていくために、毎年各取締役及び各監査役が取締役会の実効性に関する有記名のアンケート調査を実施しています。アンケートの評価結果については、取締役会に報告し、取締役会の更なる機能向上に取り組んでいます。

取締役会実効性評価の実施方法

評価対象： 当社取締役 全体

評価方法： 自己評価による取締役会の実効性に
係る評価を実施

アンケート項目：

- 会社の機関設計
- 取締役会の運営
- ステークホルダーとの対話
- 取締役会の構成
- 取締役会の支援体制
- その他（自由記入）

取締役会の実効性に関する評価結果の概要（2024年5月期）

今回のアンケート評価結果の概要は以下の通りです。

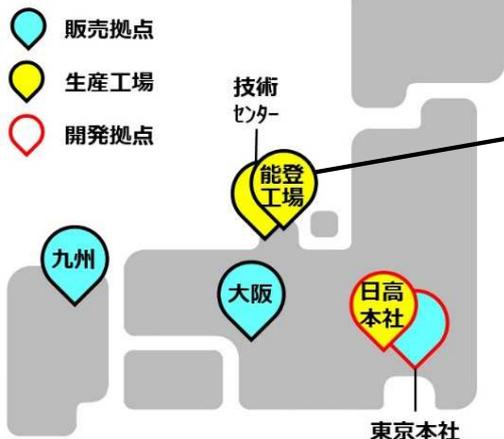
- ① 取締役会の実効性が概ね確保されている。特に、「取締役会の構成（多様性）」、「取締役会の運営（議論の質）」等に関する項目の評価が向上。
- ② 「取締役会の構成（任意の指名・報酬委員会の活動）」、「取締役会の運営（資料や発表の質の向上）」、「取締役会の支援体制（役員トレーニングなど）」、「ステークホルダーとの対話（S R・I R対応）」、等の面では改善の余地がある。

今後の取り組み：

- 全社及び事業部門・グループ各社の中期経営目標の達成状況やその対応策に関する議論の充実
- 任意の指名委員会・任意の報酬委員会の定期的な開催と機能の拡充
- 社外役員と経営トップや事業部門トップとの面談の機会の増加並びに役員トレーニングの質の向上
- 当社企業価値の理解促進に向けた株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様への情報開示の充実
- 取締役会での当社S R・I R活動状況の確認及び定期的なフィードバックの実施

能登被災からの復旧

令和6年1月能登半島地震の影響を受けましたが、全社的なBCP活動により、早期復旧に努めました。



主な製造品目：光学基本機器製品等

※同セグメント製品は中国グループ会社も生産。被災による能登工場の一時的稼働停止中は、BCPを発動し、中国グループ会社で代替生産を実施。

- 生産設備： 生産設備の復旧完了。新たな設備を導入。
- 生産体制： 供給体制は通常稼働と同等水準まで回復。
- 建物設備： 工場建物・付属設備の大規模修繕が完了。

※詳細はこちらもご参照ください。

https://www.sigma-koki.com/asset/data/20240523_p.pdf



DX戦略/製造プロセス編

光学部品検査の豊富なナレッジ



目視検査（手動）



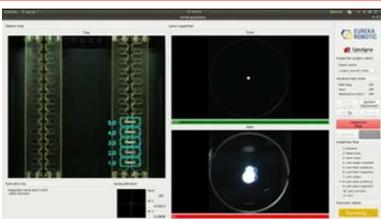
光学観察システム（手動）

光学部品の表面検査を目視検査からAIを活用した自動検査へ。

専門企業とコラボレーション



ロボティクス（自動）



AI検査（自動）



自動外観検査装置

最先端の研究開発用途及び産業用途で活用される光学部品は、その超高精度の品質管理のため、検査工程が大変重要です。シグマ光機は、長年の検査工程のノウハウ及び蓄積してきた光学観察技術やシステム化技術等とともに、専門企業とのコラボレーションを通じて、検査工程の自動化に取り組んでいます。

自動搬送車(Auto Guided Vehicle)で社内搬送を自動化！

工場内での搬送の自動化に向けて、無人搬送車の開発及び活用に取り組んでいます。

今後も、デジタル技術を活用した生産性向上、業務プロセスの改善、働きやすい職場環境の構築等を進めていきます。

自動搬送車（AGV）（左）▶

人を認識して停車している様子（右）▶



「光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念の実現に向けたグローバル戦略の一環として、様々なステークホルダーの皆様に当社グループの価値観をお届けするブランド戦略を展開しています。

「OPMA(オプマ)」 「KOPMA(コプマ)」 公式キャラクター



▲当社キャラクター
OPMA (左) と KOPMA (右)

世界を旅するさすらいのペア

- 名前の由来：「Optical Product Manufacturing Alliance」、
「Key Optical Product Manufacturing Alliance」の頭文字。
「光学のものづくりに関わる皆様とずっと近く寄り添いたい」という思いから生まれました。
- 誕生日：4月11日（当社創立記念日）
- 趣味：食べ歩き、鮭のアレンジ料理、柔道、人間（動物）観察
- 好きなもの：鮭（これ1番）、お酒（日本酒、ワイン、焼酎etc）、お米料理
- 夢：世界196か国上陸
- 特徴：動物（人間も）大好きでおしゃべり。永久に歳をとらない。
語学堪能（日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語）のマルチリンガル。



テーマソングも
あります♪
こちらより
ご確認ください。



皆様とずっと近く寄り添うために生まれた「OptoSigma®」ブランドの公式キャラクターです。「アイ・キャッチ」「ナビゲーター」「コミュニケーター」という大きな3つの役割をもって、WebやSNS、展示会等の様々な場面で活躍しています。

「OptoSigma®」 グローバルブランド

Optics & Photonics（光学）+ Sigma（総和・融和・協調）

当社グループが長年に亘り光学分野で培ったオンリーワン・ナンバーワン技術を「融合・伝承」し、未来が求める新しい「光ソリューション」を提案することが、皆様の「くらし」と「いのち」を支え、社会貢献につながると考えています。海外でプロダクトブランドとして先行していた「OptoSigma®」ブランドを2014年1月1日よりグローバルブランドに位置づけ、世界で展開を進めています。



「Light Solutions for Life®」 ブランド・ステートメント

Light Solutions for Life®
光なら、きっとできる。

皆様の「くらし」や「いのち」に関わる様々な分野を「光技術の弛まぬ革新」と「光ソリューションの提供」で支えていくという、シグマ光機グループの「ものづくり」に対する事業姿勢を表しています。

「Project Avatar」 新しいマーケティングキャンペーン



「Project Avatar」は、ガンマ線によって生まれ、優れた知性を持つロボットヒーロー「KAZU」が繰り広げるSFベースの冒険物語です。コミックタイプのマーケティングツール「Project Avatar」を通じて、グローバルマーケットでのユニークなブランド構築とともに、将来の光学分野を担う学生や若い研究者等の幅広い人材層とつながる等、持続可能なブランド価値の訴求に取り組んでいます。

▲「Project Avatar」1巻（左）と主人公のKAZU（右）

「Project Avatar」はこちらから
読むことができます。（英語版のみ）▶



JAPAN

Business Strategy, Financing,
Technical Development



本社・日高工場



〒130-1297 埼玉県日高市下高萩新田17-2
TEL : 042-985-6221 (代) / FAX : 042-985-6561

東京本社



〒130-0021 東京都墨田区緑1-19-9
TEL : 03-5638-6551 (代) / FAX : 03-5638-6550
[営業]E-mail : sales@sigma-koki.com
[総務]E-mail : info@sigma-koki.com

大阪支店



〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-9-28
TAIYO センタービル6F
TEL : 06-6307-4835 (代) / FAX : 06-6307-4834
E-mail : sales.osaka@sigma-koki.com

九州営業所



〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-25
TEL : 092-481-4300 (代) / FAX : 092-481-4310
E-mail : sales.kyushu@sigma-koki.com

能登工場 (石川県先端産業条例指定工場)



〒925-0375 石川県羽咋郡志賀町若葉台62-1
能登中核工業団地内
TEL : 0767-38-1114 (代) / FAX : 0767-38-1651

技術センター



〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1
石川ソフトリサーチパーク内
TEL : 076-274-6100 (代) / FAX : 076-274-6103

関連企業

タックコート株式会社

 タックコート株式会社

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石4144-5
TEL : 0265-21-2211 / FAX : 0265-21-2088
光学薄膜製品の製造・販売

LMS株式会社

 LMS株式会社
Life & Medical Solutions

〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1
石川ソフトリサーチパーク内
メディカル・ヘルスケア業界向け医療機器並びに
光学・電気機器などの開発・製造・販売

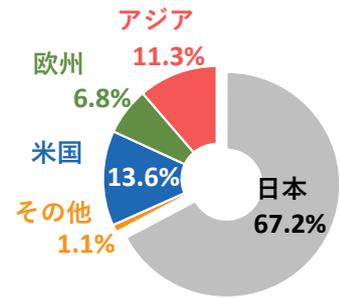
グローバルネットワーク

シグマ光機グループは、グループの総合力を活かして、着実な成長を遂げています。市場の拡大傾向が続く各エリアでは、様々な市場ニーズに応じて、高品質な製品の提供に取り組んでいます。

2024年5月期実績

地域別売上高構成比

- 売上高（連結）
11,213百万円
- 海外売上高比率
32.8%



米国

OptoSigma Corporation

1540 Scenic Avenue, Suite 150 Costa Mesa, CA 92626, U.S.A.

TEL : +1-949-851-5881 / FAX : +1-949-851-5058

E-mail : sales@optosigma.com



アジア・オセアニア

OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.

83 Science Park Drive, #02-01, The Curie, Singapore 118258

TEL : +65 6909 9318 / FAX : +65-6909-9330

E-mail : sales@optosigma-sea.com



欧州

OptoSigma Europe S.A.S.

3 rue de la Terre de Feu, 91940 Les Ulis, Essonne, FRANCE

TEL : +33-1-6918-1700 / FAX : +33-1-6010-0929

E-mail : sales@optosigma-europe.com



SHANGHAI SIGMA KOKI CO., LTD.

3355 JIN DU ROAD, XINZHUANG INDUSTRIAL ZONE, MINHANG, SHANGHAI 201108 CHINA

TEL : +86-21-5442-4309 / FAX : +86-21-5442-2758



OptoSigma Germany GmbH

Fürstenrieder Str. 279a, 81377 Munich, Germany

TEL : +49-89-12086833

E-mail : g.sales@optosigma-europe.com

財務・非財務ハイライト（5カ年）

財務ハイライト

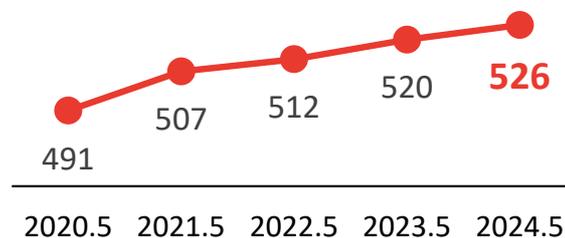
（単位：百万円）

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
売上高	8,493	8,765	10,354	11,367	11,213
売上原価	5,265	5,406	6,269	6,926	6,928
販売管理費	2,515	2,376	2,646	2,936	3,106
営業利益	711	983	1,437	1,504	1,178
営業利益率（%）	8.4%	11.2%	13.9%	13.2%	10.5%
経常利益	840	1,152	1,614	1,690	1,349
親会社株式に帰属する当期純利益	595	822	1,170	1,493	687
設備投資	682	190	198	839	1,121
営業活動CF	1,144	1,577	942	982	1,410
投資活動CF	△297	△1,486	△708	182	△1,458
財務活動CF	142	△370	△532	△112	△618
現金及び現金同等物の期末残高	3,449	3,247	3,135	4,330	3,904
配当金（円）	40	40	40	42	42
配当性向（%）	47.6%	34.4%	24.2%	19.9%	43.3%
株価収益率（PER）（倍）	13.91倍	14.68倍	9.04倍	7.23倍	15.97倍
自己資本利益率（ROE）（%）	4.64%	6.15%	8.16%	9.60%	4.13%
株価純資産倍率（PBR）（倍）	0.65倍	0.90倍	0.74倍	0.69倍	0.66倍

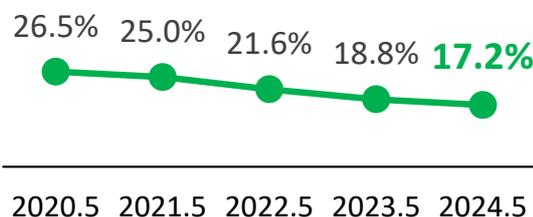
非財務ハイライト

女性役職者比率（単体） ※各役職別男女対各役職別女性比率

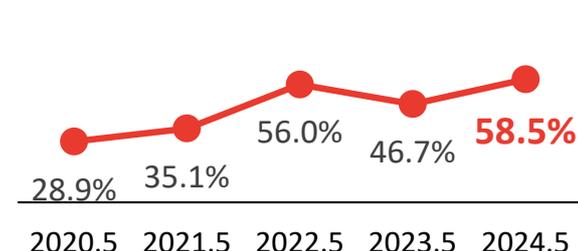
社員数 **526名**（連結）



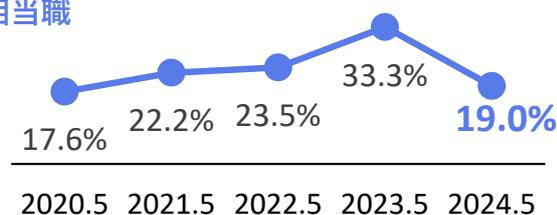
主任相当職



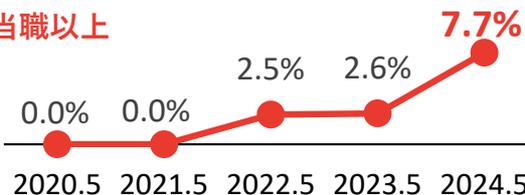
採用者の女性割合 **58.5%**（単体）



係長相当職



課長相当職以上



会社概要 (2024年8月28日現在)

- 社名 シグマ光機株式会社
- 本社 埼玉県日高市下高萩新田17番地2
- 設立 1977年(昭和52年)4月
- 資本金 26億2,334万円
- 従業員数 371名(2024年5月31日現在)
- 役員

代表取締役社長	近藤 洋介
取締役	石井 康之
取締役	多幡 能徳
取締役(社外)	小澤 勉
取締役(社外・独立)	野崎 誠
取締役(社外・独立)	松尾 祐美子
取締役(社外・独立)	セツジイオン
常勤監査役(社外・独立)	上野 健司
監査役(社外)	南雲 幸一
監査役(社外・独立)	熊崎 美杉

株式の状況 (2024年5月31日現在)

- 発行可能株式総数 32,000,000株
- 発行済株式総数 7,552,628株
- 株主数 5,683名
(前期末比280名増)

■ 主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	466	6.58
株式会社ツシマ	215	3.04
シグマ光機従業員持株会	209	2.95
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社サンライズクリエイト	148	2.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	127	1.79
光通信株式会社	123	1.74
杉山大樹	110	1.56

- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しています。
 3. 持株比率は、自己株式(470,450株)を控除して計算しています。

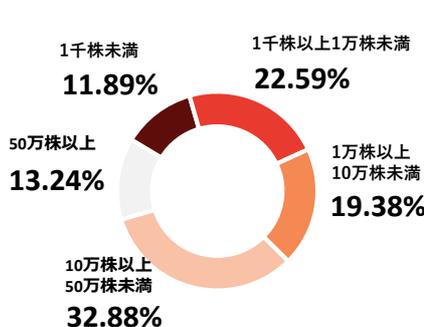
事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

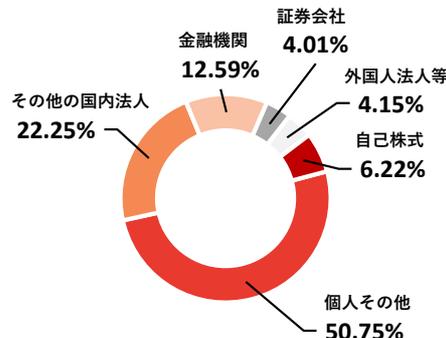
子会社・関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Germany GmbH
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- LMS株式会社
- タックコート株式会社

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しています。
 3. 持株比率は、自己株式(470,450株)を含んでいます。

株主メモ

- 事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
- 単元株式数 100株
- 定時株主総会 毎年8月開催
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 基準日 定時株主総会 毎年5月31日
期末配当金 毎年5月31日
中間配当金 毎年11月30日
- 電子公告URL <https://www.sigma-koki.com/>

Pick Up 製品紹介



「パルスオキシメータ」と
「皮膚赤外線体温計」を一体化！

オキサモメーター OTLS-01

医療機器製造販売企業と
当社が持つ光技術の協働によって開発した
管理医療機器です。



指先から「体内糖度」と
「血管圧」を測定！

グルプレメーター GPLS-01

当社独自で開発した電子機器製品です。
「Google Play®」にAndroid®専用アプリも
登録しました。



<https://www.sigma-koki.com/>

[本社・日高工場]

〒350-1297 埼玉県日高市下高萩新田17-2
TEL: 042-985-6221 (代) FAX: 042-985-6561

[東京本社]

(営業部)
〒130-0021 東京都墨田区緑1-19-9
TEL: 03-5638-6551 (代) FAX: 03-5638-6550
E-mail: sales@sigma-koki.com
(総務部)
TEL: 03-5638-8221 (代) FAX: 03-5638-8222
E-mail: info@sigma-koki.com

[大阪支店]

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-9-28
TEL: 06-6307-4835 (代) FAX: 06-6307-4834
E-mail: sales.osaka@sigma-koki.com

[九州営業所]

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-25
TEL: 092-481-4300 (代) FAX: 092-481-4310
E-mail: sales.kyushu@sigma-koki.com

[能登工場] (石川県先端産業条例指定工場)

〒925-0375 石川県羽咋郡志賀町若葉台61-2 能登中核工業団地内
TEL: 0767-38-1114 (代) FAX: 0767-38-1651

[技術センター]

〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1 石川ソフトリサーチパーク内
TEL: 076-274-6100 (代) FAX: 076-274-6103

Head Office / Hidaka Plant

17-2, Shimotakahagi-shinden, Hidaka-shi, Saitama 350-1297
TEL: +81-42-985-6221 FAX: +81-42-985-6561

Tokyo Head Office

5F, SIGMA KOKI Tokyo Head office 1-19-9, Midori, Sumida-ku,
Tokyo, 130-0021, JAPAN
TEL: +81-3-5638-6551 FAX: +81-3-5638-6550
TEL: +81-3-5638-8228 (Overseas sales group / English)
E-mail: (Sales Department) international@sigma-koki.com
(General Affairs Department) info@sigma-koki.com

Osaka Branch

4-9-28 Nishi-Nakajima, Yodogawa-ku, Osaka 532-0011
TEL: +81-6-6307-4835 FAX: +81-92-481-4310
E-mail: sales.osaka@sigma-koki.com

Kyushu Sales Office

1-17-25 Hakata-eki-higashi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0013
TEL: +81-92-481-4300 / FAX: +81-92-481-4310
E-mail: sales.kyushu@sigma-koki.com

Noto Plant

61-2 Wakabadai, Shika-machi, Hakui-gun, Ishikawa 925-0375
TEL: +81-767-38-1114 / FAX: +81-767-38-1651

Technology Center

1-1 Yatsukaho, Hakusan-shi, Ishikawa 924-0838
TEL: +81-76-274-6100 / FAX: +81-76-274-6103

